

北海道胆振東部地震

安平町へ職員派遣 2人が業務終え帰町

9月6日に発生した最大震度7を記録した北海道胆振東部地震。町では一大規模災害時等の北海道・東北8道県相互支援に関する協定に基づく岩手県の要請により、職員を2人派遣しました。派遣先は家屋の倒壊などの被害があつ



派遣した職員（左から黒沢、及川）

た北海道安平町。派遣期間は、9月25日から30日までの6日間で、住家被害認定調査に従事しました。10月4日には、帰庁報告が行われ、安平町の被害状況や支援の様子、従事した事務の内容などについて町長へ報告。担当した区域の被害は比較的少なく安心したとの報告もありました。今回派遣した職員は、黒沢和也（総務課）と及川智弘（税務課）の両名。2人は東日本大震災や、昨年発生した台風21号による被害があつた際に住家被害調査を経験しています。「自身の経験を生かし、少しでも被害にあつた方の力になれば——という思いで従事した」と、被災地への思いを述べました。

〇〇〇〇〇〇

みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ 山田町役場総務課情報係 ☎ 028-1392（住所不要）
☎ 82-3111内線417）へ。

二期一会

昨日は生きた。今日は生きている。明日も生きるだろう。生きたのは昨日です。生きるだろうは明日です。真に生きているのは今日です。昨日の私も私でした。明日の私も私でしょう。しかし今日の私は昨日の私ではありません。明日の私もまた今日の私ではありません。所詮、世の中のこと、すべては「一期一会」です。一生たった一度きりです。「一生一別」です。「世の中は今日より外はなかりけり」です。昨日は過ぎた過去、明日は知られざる未来です。



内館 洋一（飯岡・75）

やまだ文芸広場

懐かしき 豊作願い 種を播く
秋空響く 収穫の音
先人の 努力と汗の 賜物を
塵芥と化して 心が揺らぐ
匿名希望（豊間根）

野も山も 錦を装い 木々踊る
草原の 秋を彩る 草もみじ
沼崎 悦子（船越・76）

将棋好き集まれ！ 将棋交流会



山田将棋愛好会では、将棋交流会を開催します。対局はもちろん、観戦だけでも構いません。初級者から上級者まで、皆さんどうぞお越しください。

▽日時 11月4日(日)、18日(日) 午後2時～5時

▽場所 船越公民館

▽参加費 無料

◆問い合わせ 山田将棋愛好会（川村 ☎ 8613676）へどうぞ。

町長室から

ことし5月31日に、役場前の土地を地権者へお引き渡しできました。あれから5ヶ月が経過した現在、家屋の数は建築中も含めて約50軒を超えようとしており、来年も建設は続いていくと考えられます。町内全地区では、現在までで約1100軒が新築・再建され、町では、あと300軒ほどが建設されると予想しています。人生において自宅を新築するということは大変なこと、ましてや2回目となると、精神的にも経済的にも非常に大きな負担となります。難しい問題があつたならば、すでにお建てになつた方でも、お早めにご相談いただきたいと思います。

震災から7年半という月日が経ちました。住まいの問題に限らず、いまでもいろいろな悩みを抱えている方は少なくありません。そのようなときは、おひとり抱え込まず、役場へご相談ください。

山田町長 佐藤 信逸